

ほおづえ

第2号

<< 内 容 >>

- ・2期目を迎えて
- ・委員会からの報告
- ・建築学科から
- ・親睦会のお知らせ
- ・平成7年度通常総会報告
- ・事業委員会から
- ・建築的な話題
- ・編集後記
- ・議案
- ・支部設立の状況
- ・読書案内

■ 2期目を迎えて ■

昨年の9月にスタートをきった同窓会も2期目を迎えました。ホップ・ステップ・ジャンプの流れでいうなら、今期はステップの年であると思います。

みなさんをひとつの輪にくるむ意志の共有化・屋台骨作りが、第1期の直面した目標でした。

そして今期はさらに肉付けをすすめながら、会員みなさんひとりひとりにとって、同窓会として何を提供しどんな受け皿を用意するか、具体的な組織固め、コンセプトづくりの年になると思います。

全国的に今後も展開していく会員のみなさんと、本部とのコミュニケーションの在り方、特定の地理的範囲を設定した支部のような小単位でのコミュニケーションの在り方、本部としての支援体制、高専生のみなさんに対する支援の在り方、これらを整理し、みなさんにご提案するのが今期の私どもの使命であると思っています。

総会においても貴重なご意見をたくさん頂戴しました。総会に出席できなかった会員みなさんのご意見もお聞きしたく、全会員へのアンケートを今期中には実施したいと思っています。特定の資格を有する団体でもなく、あくまでも親睦を目的としているのにあまりむずかしく考える必要もないという意見もあるでしょう。しかし、同窓会の継続と発展を意識する上では、どうしてもここで議論を重ねておきたいと思っています。

震災、オウムサリン、不景気、円高・・・何かと暗い話題が多い昨今ですが、同窓会「ほおづえ会」の輝かしい未来への挑戦は続けたいものです。

時節柄、健康にはとくに留意され、会員のみなさんの益々のご発展をお祈りします。

ほおづえ会会長 野手有二(1期)



会長 野手有二 (1期)

■ 平成7年度通常総会報告 ■

平成7年6月24日(土)、午後6時より金沢シティモンドホテルにおいて平成7年度通常総会および懇親会がおこなわれました。

参加者は44名、委任状は207通でした。石川高専からは、榎田清名誉教授、伴俊明主任教授、河内浩志助教授の3名の先生が出席されました。遠くからは、伊藤信一郎君(2期・東京)、野口満君(8期・千葉)、家山真君(14期・愛知)の参加がありました。

○ 総会について

当日の司会 谷保学君(3期)により、総会の成立が宣言され、まず、野手有二会長(1期)より挨拶がありました。続きまして、寺嶋清人君(2期)を、議長に選任し後述の4項目の議案について審議をいたしました。本田昌義事務局長(3期)より、各議案の報告があり、拍手をもって承認されました。第2号議案につきましては、長村峰行監査(5期)より監査報告を受け、拍手をもって承認されました。

○ 質問および動議

質問・動議を受け付けましたところ、伊藤信一郎君(2期)より、動議2件および申請2件をいただきました。

動議(1)「支部設立につき、北陸地区についても北陸支部をできるだけ早く設立していただきたい。」

この動議には、吉田康弘君(2期)などより、「まだ支部の設立など組織作りの段階なので経緯をみてもよいのではないか」等の意見があり、野手会長より「北陸支部がよいのか各県単位がよいのか来年度の総会をめぐりに役員会で検討し案がだせるようにしたい。」との回答がありました。

動議(2)「名簿を現在の体裁で、毎年、全会員に配付する必要があるのか。また、名簿に対する準会員を含めた会員の意識調査をしてほしい。」

この動議には、本田事務局長より「意識調査に関するアンケートについては内容を検討しておこないます。また、ほおづえ会発足時の経過として名簿は同窓会の命であり、毎年発行更新するものとして価値があるものと認識しており、名簿作成にかかる経費については、広告を取るなど支出に占める割合を減らす方向に考えております。」との回答がありました。

申請(1)「現在、支部設立準備をおこなっていますが、九州・四国・中国・東北・北海道・外国については、独自に支部が設立できるまで本会直轄としていただきたい。」

申請(2)「総会に次ぐ議決機関として、本会役員と全支部執行部による会議を定期的に招集していただきたい。」

なお、上記の申請2件については伊藤君より「あくまでもお願いであり、本会会長に一任する」とのことでした。

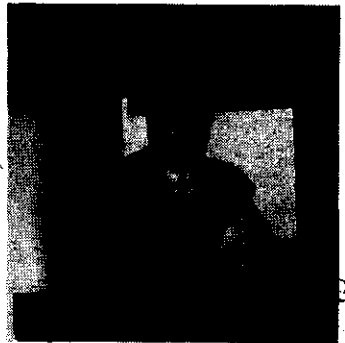
以上をもちまして通常総会は閉会されました。

○ 懇親会について

総会終了後、越野明君(9期)の司会により懇親会がおこなわれました。まず、伴俊明主任教授から、スピーチをいただき、続きまして乾杯の音頭を、河内浩志助教授よりご発声いただきました。なごやかに歓談が進み、アトラクションのゲームでは盛り上がり、榎田清名誉教授の「人生20年ひと区切り・専門ばかになるな」のスピーチで大受けし、万歳三唱で締めくくらせていただきました。



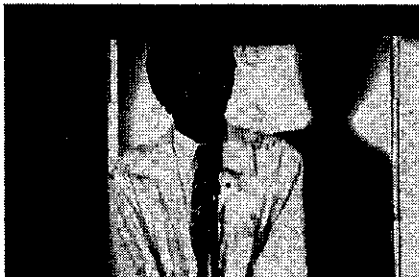
司会 谷保学(3期)



議長 寺嶋清人(2期)



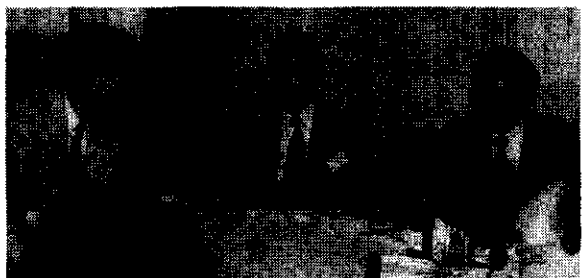
万歳三唱
 榎田清名誉教授



懇親会スピーチ
 伴俊明主任教授



乾杯
 河内浩志助教授



懇親会会場スナップ

■ 議 案 ■

○ 第1号議案 平成6年度事業報告

- ・設立総会 (9月23日)
- ・平成6年度会員名簿の発行 (9月23日)
- ・会報「ほおづえ」創刊号の発行 (12月1日)
- ・準会員(高専生)へ設立主旨の説明会および講演会 (1月11日)
- ・東日本支部設立準備会主催「スキー旅行」 (2月25～26日)
- ・見学会「中谷宇吉郎 雪の科学館、根上総合文化会館・TANTO」 (3月31日)

< ほおづえ会誌 >

2月16日(水)	発起人会結成準備会	9月14日(水)	発起人会役員会
3月23日(水)	第1回発起人会	9月21日(水)	第6回発起人会
4月13日(水)	発起人会役員会	9月23日(金)	設立総会および記念パーティ
4月20日(水)	第2回発起人会		平成6年度会員名簿発行
5月12日(木)	発起人会役員会	10月14日(金)	発起人会反省会
5月17日(火)	発起人会役員会	11月10日(木)	第1回幹事会
5月25日(水)	第3回発起人会	11月16日(水)	事業委員会
6月6日(月)	発起人会役員会	12月1日(木)	会報「ほおづえ」創刊号発行
6月22日(水)	第4回発起人会	12月22日(木)	広報委員会
7月8日(金)	発起人会役員会	1月11日(水)	準会員へ設立主旨の説明会
8月19日(金)	発起人会役員会		および講演会
8月24日(水)	第5回発起人会	1月21日(土)	役員会新年会
		3月31日(金)	見学会および懇親会

○ 第2号議案 平成6年度収支決算報告

<収入の部>

・会費 (正会員) 3,000×309	927,000
・総会、パーティ代金	1,359,000
(10,000×68、8,000×58、5,000×30、祝儀65,000)	
・寄付金	47,800
・預金利息	318
<hr/>	
合計	2,334,118

<支出の部>

・総会、パーティ費	1,215,635
(ホリディイン支払1,180,405、写真代18,230、名札・コピー代17,000)	
・印刷費 (名簿、会報、封筒、振込用紙)	408,065
・通信費 (総会案内状、名簿発送等)	308,585
・事業費 (会報表紙デザインコンペ景品)	27,810
・事務費	64,224
・会議費	65,007
・次年度繰越金	244,792
<hr/>	
合計	2,334,118

<監査報告>

監査の結果収支決算は適正に収録され、間違いなく支障を認めません。

平成7年5月17日

監査 立野 雅幸

監査 長村 峰行

○ 第3号議案 平成7年度事業計画案

<事業委員会>

- ・ほおづえ会サロン (於金沢勤労者プラザ)
 - 第1回 5月27日
 - 第2回 6月17日
 - 第3回以降 毎月第4土曜日
- ・親睦会 (8月13日)
石川県森林公園にてバーベキュー
- ・見学会 (11月12日)
福井県鯖江市および越前海岸 (サンドーム福井など)

<教育委員会>

- ・準会員 (高専生) への講演会
- ・高専において正会員の作品展(10月中旬)
- ・3年生の合宿研修に講師の派遣

<広報委員会>

- ・会報「ほおづえ」の発行 (7月、12月)
- ・平成7年度会員名簿の発行 (12月)

○ 第4号議案 平成7年度収支予算案

<収入の部>

・会費 (正会員) 3,000×400	1,200,000
・会費 (準会員) 1,000×200	200,000
・前年度繰越金	244,792
合計	1,644,792

<支出の部>

・総会費	150,000
・印刷費 (名簿、会報2回)	500,000
・通信費 (総会案内、会報、名簿発送)	450,000
・事業費 (事業・教育・広報各委員会)	200,000
・支部設立支援費 (東日本・西日本・東海各支部)	200,000
・会議費	50,000
・事務費	94,792
合計	1,644,792

■ 委員会からの報告 ■

○ 関西空港見学会の中止について (事業委員会)

平成6年度の事業として関西空港の見学会を企画いたしておりましたが、ご存じのとおり「阪神大震災」の発生により、事実上見学が不可能となり中止いたしました。

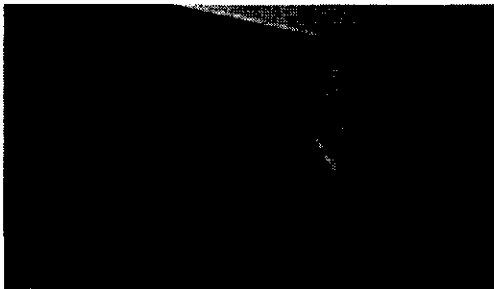
参加・企画等多くのかたがたにご迷惑をおかけいたしましたこととお詫びいたします。

○ 準会員への設立主旨の説明会および講演会 (教育委員会)

平成7年1月11日、石川高専にて準会員(建築学科全学生)を対象にして同窓会設立の説明会がおこなわれました。野手会長より同窓会の成り立ち・主旨・役割の説明があり、続いて本田事務局長より、会則・組織構成などの説明がありました。

とくに高専生(準会員)に興味をもたれたのは講演会ではないでしょうか?

今回は、パネルディスカッションの形式で行われました。司会が教育委員長の水上勝之君(8期)、パネラーは、山内隆君(4期)、宮川浩志君(2期)、長崎(牧野)具美さん(17期)、越野明君(9期)の5名でおこなわれました。今回は、設計畑に片寄りがちになってしまいました。社会に出てから現在に至るまでのいろいろな経験、実社会に出てからの転機、女性の社会での扱いなどが話されました。とくに紅一点の長崎(牧野)さんの発言には女子学生が真剣に耳を傾けている様子がうかがえました。



説明会にて 野手会長



パネルディスカッション

○ 見学会の報告 (事業委員会)

関西空港見学会が中止となりましたので、平成7年3月31日～4月1日に、懇親会と見学会「加賀市中谷宇吉郎雪の科学館、根上町根上総合文化会館・TANTO」をおこないました。

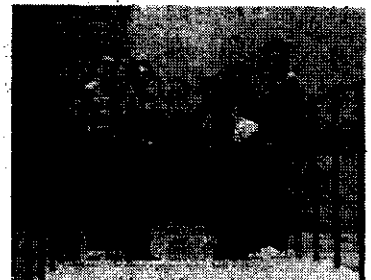
雪の科学館は、意匠・磯崎新アトリエ、構造・川口衛構造設計事務所の設計で、建物だけでなく公園と一体となった設計も周囲を散策することで十分満喫できるものと思います。

柴山潟湖畔公園の中にあり、また展示以外にも映像(25分)・実験コーナーなど、子供連れでも十分楽しめる施設にもなっています。

TANTOは、愛称で、イタリア語の「より豊かに」と方言の「た〜んと」という意味もついています。音楽ホール(704席)、円形ホール(1500人収容)、小ホール(150人収容)、ハイビジョンシアター(72席)などを有するイベント主体の施設です。

当日は、少数ではありましたが設計・施工・研究畑の多種多様の人達が集まり色々な話題に話が盛り上がっていました。

また、TANTOにおいて「阪神大震災(地震と建物の振動)」に関する報告・勉強会もおこないました。



雪の科学館にて

■ 事業委員会から ■

○ 見学会「サンドーム福井と越前がに」ツアー

平成7年度の事業の一つである見学会を開催いたします。今回は福井県（越前）に見学先を決めました。時季も北陸の食が美味しくなる頃です。会員・準会員（高専生）の皆様はもちろん家族連れでの参加も大歓迎です。多数の申込をお待ちしております。

見学会のメインとなる愛称「サンドーム福井」は、意匠設計が福井大学教授岡崎甚幸、構造設計が法政大学教授川口衛により設計されました。建築面積は12,684㎡、建物高さは54.8mとなっています。

この建物は次のような理由で話題になっています。(1)積雪2mを考慮して設計された堆雪型ドーム。(2)バンタドーム構法によるリフトアップ工法がもちいられており、これは国内では2例目にあたる。(3)世界体操選手権鯖江大会のメイン会場に使われる。

- 見学地： サンドーム福井（鯖江市）
 植物園「プラントピア」（朝日町）
 昼食－越前がに料理
 東尋坊
- 日時： 11月12日（日）
- 経由： 富山市内⇒高岡市内⇒高専前⇒金沢駅前⇒小松インター⇒見学地（予定）
- 会費： 13,000円
- 申込締切： 9月30日（土）
- 申込方法： 下記までFAXにてお願いします。
 0762-22-9229 本田(3期) 金沢デザイン建築専門学校内
 または 0761-57-3651 越野(9期)
- 詳細： タイムスケジュール等の詳細は申込者に後日連絡いたします。
- 備考： おいしいかきが食べられる頃です。
 北陸以外の方もぜひご参加ください。

○ ほおづえ会サロンの開設について

同窓会の設立により人的交流も進んでまいりました。

CADに関するアンケート等により広い意味での情報交流が必要と判断し、「CAD勉強会」、「パソコン交流会」から上記の「ほおづえ会サロン」と名称をかえ、より一層の会員皆様の情報交流を目的として企画しております。たんなる勉強会ではなくサロンのようにくつろげるような親睦のための場が提供できないかという主旨のもと目的を拡大しました。すでに5月と6月の2回の開催で、コンピュータ、CADおよび地震や防災に関することなどが話し合われています。

- 日時： 毎月第4土曜日
 午後6時から9時まで
- 場所： 金沢勤労者プラザ
- テーマ： 建築に関すること
- 対象： ほおづえ会会員および準会員（高専生）
- 備考： サロンについてのご意見・情報等をお寄せください。
 0761-57-3651 (FAX) 越野(9期)

■ 支部設立の状況 ■

○ 支部結成の状況

平成6年度は、各期各方面の人に支部設立準備への幹事をお願いしてきました。とくに東日本支部では順調に組織作りが進んでおり、平成7年度には支部設立に至りそうです。西日本・東海支部では東日本支部に続くように組織作りを進めていきたいと思っています。

<東日本支部>

伊藤信一郎君(2期)を中心として、執行部、代表幹事等の人選もすでに終わっています。愛称「すじ会」が着々と結成旗揚げの準備を進めています。

平成6年12月	第1回東日本支部設立準備幹事会
平成7年 2月25日	東日本支部親睦スキー旅行
平成7年 5月	第1回東日本支部設立準備代表幹事会
平成7年 5月	第2回東日本支部設立準備代表幹事会
平成7年 7月 7日	第3回東日本支部設立準備代表幹事会

東日本設立準備支部では、本年度は下記の活動を予定しています。

正式発足通知、支部設立総会(兼新社会人歓迎会)
会則、ルール等の整備
小サークル活動の推進およびサークルへの援助
パソコンネットワークでのフリーボードの設置

<西日本支部>

隅田忠志君(3期)を中心に幹事の方々に連絡をとり組織化をはかっています。阪神大震災のため進捗がやや遅れております。

平成6年12月 第1回西日本支部設立準備幹事会

<東海支部>

山本進一君(2期)、家山真君(14期)を中心に幹事の方々に連絡をとり組織化をはかっています。また、豊橋技科大での組織化も進めていきたいと思っています。

平成6年12月14日 第1回東海支部設立準備幹事会
平成7年 3月 1日 第2回東海支部設立準備幹事会

○ スキー旅行について

平成7年2月25～26日、東日本支部設立準備幹事会主催によるスキー旅行がおこなわれました。新潟県の「かぐら・みつまたスキー場」において、参加者は13名で、北陸・東海・関西地区からも参加がありました。両日も、天候にも恵まれ、雪質も良く十分スキーを楽しむことができました。

酒をまじえての席では金沢弁や旅行の話などで盛り上がりました。1泊2日という少しきつい日程でしたが、「また来年も来たいね」という声も聞かれ、親睦も十分にはかれたと思います。



スキー旅行でのスナップ

■ 建築学科から ■

平成6年度の卒業式が、平成7年3月17日に金沢市市民ホールにおいておこなわれました。
21期生は、44名が卒業し、内10名が進学となっております。
また、平成7年4月10日には入学式がおこなわれ、40名が建築の道へと進むこととなりました。

○ 建築学科学生の構成

学年	全学生数	女子学生数	留学生数
1年生	40	25 (62.50%)	
2年生	41	22 (53.66%)	
3年生	42	30 (71.43%)	(フィリピン) 1
4年生	44	31 (70.45%)	(ベトナム) 1
5年生	40	25 (62.50%)	
合計	207	133 (64.25%)	2

○ 人事移動

創刊号でもお知らせしましたように、建築学科には10名の常勤の教官から構成されています。
今年度は、新任の教官の方が配属されました。まずは、今年度の人事から

< 転出 >

石川 浩一郎 福井大学工学部環境設計工学科へ転出

< 新任 >

船戸 慶輔

○ 新任の教官の紹介

船戸 慶輔

(ふなと けいすけ)

昭和43年3月24日生まれ

経歴： 福井大学工学部建設工学科卒業

神戸大学工学研究科土木工学専攻

福井大学博士課程システム設計工学専攻（在学中）

平成7年4月より助手として配属

前期の授業は、3年生の「材料実験」と4年生の「測量」を担当しています。

専攻は「地盤と建物の動的相互作用」で、境界要素法・有限要素法の解析手法を用いて地盤の挙動について研究しています。

< 船戸先生の印象など >

今年度は、1年目なので授業のコマ数がまだ少ないようですが、コンピュータにも詳しく、今後がとても楽しみです。容貌も、お髭の似合うダンディな好青年といった感じです。

長い間、地盤・基礎関係の専門の教官がいませんでしたから、学生には新しい知識を得るチャンスが増えたことと思います。本人曰く「恋人募集中」とのことでした。

■ 建築的な話題 ■

建築学科教授 垂井 洋蔵

○ 同窓会について

石川高専建築学科も独自の同窓会が組織できるほどの伝統が育ってきたことは素晴らしいことだと思います。建築に関わる様々な分野にいろんな世代の人間が散らばっているのはとても大きな力です。同窓というだけでまず何とか初対面でも話し掛けることができます。知り合う第一ステップがもう既に用意されているわけです。あとは自分の実力次第で先に進むことができます。これは友達（嫁さん、婿さん？）探しにおいても、もちろん仕事に結びつくコネクション作りについても大いなる力だと思います。その意味で会報や特に名簿の大切さは言わずもがなのことだと思います。私も自分の出身大学の学科の同窓名簿で助けられることがままあります。同窓会を建築的に捉えましょう。

○ コンピューターネットワークについて

石川高専も学内LANが一応完成して全世界とつながるネットワーク（インターネット）の中に組み込まれました。私の部屋のパソコンから海外の大学の図書館で本の検索をしたり、建築学科の学生作品の展示を見ることも可能です。同時に本校の学生作品を全世界に発表することもできます。電子メールでの通信はほぼ日常的におこなっています。この原稿も電子メールで広報委員会の三谷氏(7期)にコンピュータネットで送りました。

来年度には建築学科に本格的なコンピュータグラフィックの可能なワークステーションが導入されます。勉強としてでも仕事としてでも卒業生の皆さんと一緒に何か建築的な共同作業ができることを期待しています。

ちなみに私の電子メールアドレスは、tarui@ishikawa-nct.ac.jp です。

○ ヨーロッパアルプスでスキーを楽しむというのはどう？

事業委員会の越野氏(9期)とこんな話題がでています。12月のクリスマス前（飛行機が安いから）にオーストリアのインスブルックあたりでスキーを楽しみその後ウィーンの近代建築やハンスホラインの現代建築を見るツアーを1週間ぐらいで企画すればどれくらい集まるだろうなんて。実現しそうなら旅行社をできるだけ通さずにFAXや電子メールで連絡すればきっと格安でできそうな気がします。遊びも建築的でなければね。

そんなお世話は私は喜んでします。

ほおづえ会がより建築的に発展することを応援します。

----- yozo tarui , architect
Ishikawa National College of Technology, Japan
division of architectural studies
Internet : tarui@ishikawa-nct.ac.jp

■ 読書案内 地震と防災 ■

「災害は忘れた頃にやってくる」寺田寅彦がいった有名な言葉ですが、長い間大きな地震のなかった関西に地震は起きました。その阪神大震災（兵庫県南部地震）では、我々の想像した以上の悲劇を産み出し、多くの建物がこわれ耐震設計という常識を大きく覆してしまいました。地震の起こり得ることはここ北陸も同じです。石川県地震対策基礎調査報告書(1981)によれば、過去の地震の記録から震度6以上の地震は200年に1度、震度5以上は80年に1度、震度4以上は30年に1度の割合に発生するとされています。ここ数年石川においても有感の地震が増えており、200年ほど前には金沢において直下型の大地震も発生しており広い範囲にわたって大きな被害がでています。ここに過去のおもだった地震と近年発生した地震を拾いだしてみました。

	地震名	マグニチュード	金沢での震度	
1799年 6月29日	寛政金沢地震	6.0(6.4)	6~7	金沢直撃の地震
1854年12月23日	安政東海地震	8.4	5	
1858年 4月 9日	越中安政地震	7.0	5	
1891年10月28日	濃尾地震	8.0(8.4)	4	
1930年10月17日	大聖寺	6.4	3	
1933年 9月21日	七尾湾	6.0	2	輪島4 七尾・羽咋5
1944年12月 7日	東南海地震	7.9(8.0)	3	輪島4
1946年12月21日	南海地震	8.0(8.1)	3	
1948年 6月28日	福井地震	7.1(7.3)	4	輪島4
1952年 3月 7日	大聖寺沖地震	6.5(6.8)	3	輪島4 大聖寺・小松5
1961年 8月19日	北美濃地震	7.0	3	輪島3
1963年 3月27日	越前沖地震	6.9	3	
1964年 6月16日	新潟地震	7.5	2	輪島4
1983年 5月26日	日本海中部地震	7.7	1	津波の被害
1984年 9月14日	長野県西部地震	6.8	2	輪島4
1985年10月18日	能登半島	5.7	2	輪島4
1987年 3月24日	新潟南方沖			輪島4
1986年 6月 9日	医王山		1	
1993年 2月 7日	能登半島沖地震	6.6	4	輪島5
1995年 1月17日	兵庫県南部地震	7.2	3	
1995年 3月10日	福井県東部	3.8	1	
1995年 4月13日	小松	3.9	1	大聖寺3
1995年 5月 8日	富来町沖	4.1		

5冊の地震に関する本を紹介します。阪神大震災以降、地震の本が数多く出版されてきましたが、ここでは、石川の地震・建物の被害・地震全般をわかりやすく書かれているものを選びました。

石川の地震と防災についてまとめられた最新の本（同窓生も一部執筆）

「石川は安全か」		北国新聞社	1800円
文庫本で地震全般に関する本			
「地震」	和達清夫著	中公文庫	580円
「日本地震列島」	御池和夫著	朝日文庫	690円
考古学と地震、寛政金沢地震について記された本			
「地震考古学」	寒川旭著	中公新書	700円
阪神大震災の建物の被害の写真集			
「被災した集合住宅」		月刊リナー4月号増刊	2060円

最後に、被害にあわれました方々には心からお見舞いを申し上げ、この阪神大震災がみなさんの記憶から忘れ去られないことを願っております。

■ 親睦会のお知らせ ■

同窓会相互の親睦の一貫として親睦会を事業委員会として企画いたしました。きたる8月13日に、津幡の森林公園炊飯広場にてバーベキューをおこないます。準会員（高専生）はもちろん家族連れでも、彼女と一緒にでもかまいません。多数の参加をお待ちしております。当日の飛び入りも歓迎いたします。

日時： 平成7年8月13日(日)

午前11時より午後2時まで

場所： 石川県森林公園（津幡町）炊飯広場

（雨天時は屋根付きの所で決行します）

会費： 大人2,000円 子供1,000円（当日徴収）

申込締切： 8月10日(木)

申込方法： 下記までFAXにてお願いします。

0762-22-9229 本田(3期) 金沢デザイン建築専門学校内

または 0761-57-3651 越野(9期)

実行部隊より： みなさまからの差し入れを期待しております。

■ 編集後記 ■

今回は私ごとで編集作業に思うように協力できませんでした。総会の写真撮影や準備段階での原稿書きなどを行っている間に気がつけば編集後記を残すのみとなりました。次回からは新しい企画などを加えてよりよい会報になるよう努めます。8月13日の親睦会でみなさんにお会いできることを楽しみにしています。

広報委員 川崎 吉造(16期)

高専にも学内ネットワークが完成したとのこと、個人的な意見ですが、ほおづえ会サロンもそのような形で発展していけば、ますます面白いのではないのでしょうか。原稿も通信でもらえるようになれば便利なのですが……。意見・感想などありましたら広報委員会までお知らせください。

広報委員 山岸 学 (16期)

今回は、前回とは異なるワープロソフトを使うという無謀なことをやってしまいました。ちなみに今回はMS-WORD6.0(MAC)を使う予定です。さて、今回の特集ですが「女子卒業生」と「学生時代の夢」を独断と偏見で考えています。ある日突然原稿依頼の文書が届くかも知れませんが、ほおづえ会のためにもよろしく願いたします。

広報委員長 三谷 創(7期)

平成7年7月1日印刷／平成7年7月発行
編集／発行 石川工業高等専門学校建築学科同窓会事務局

石川県金沢市石引1-7-16 金沢デザイン建築専門学校内

TEL0762-62-3545 FAX0762-22-9229

印刷所 田中昭文堂印刷(株) 石川県金沢市小坂町中75 TEL0762-52-7788